



2021年 11月5日 金曜日
(令和3年)

知・技の創造

ものづくり大学発

▷72◁

私たち田尻研究室は都市の仕組み作りを通して、人々が活力を持って暮らせるまちを創造するお手伝いをしております。都市課題はさまざまであり、解決への道筋は無数に存在しますが、その土台となる「活力あるまち」の実現においては「働きやすい環境の整備」が鍵であると私たちは考えています。

日本の労働市場では新卒者の早期離職や働かざるが問題視されています。私自身も企業の方から「最近の若者は

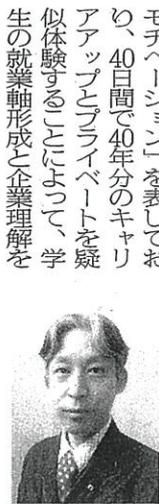
ぐに辞めてしまつ」といったお話を頂くことがあります。一方で教員として卒業生と関わる中で「やりたいことができず転職したい」と相談をされる場面も少なくありません。また、大学の学生を対象としたヒアリング調査では、現代の若者はつらい仕事を忌避するのではなく、仕事の意義や将来性を感じたがる傾向にあることが分かっています。

あることが正しい・間違っていないと知らず知らずのうち「見える溝」を深めていく危険性があるのではないのでしょうか？

たじり・かなめ 九州大学大学院博士課程、ゼネコンの技術研究所、国立群馬工業高等専門学校助教授を経て、2005年より現職。まじゅうに関する調査分析を実施。博士(工学)。

就業からまちを創る

田尻 要 建設学科教授



の将来像を理解してもらつたことを目的としています。

プライベート体験では、就

の基準軸が確立しておらず、企業側は学生がそのような状況に置かれていることを把握しきれていない、そのような「見える認識の溝」を埋めぬまま採用活動を進めてしまつた問題があると考えています。

本学では学生と企業との密な接点をつくることを目的とした40日間のインターンシップを行っており、私たち田尻研究室ではこの長期インターンシップを基に、学生の就業意識を醸成する「CPMイン

促す取り組みです。キャリアアップ体験では、体験する役職ごとに40日間を等分、新入社員から管理職まで各役職の業務を体験します。キャリアアップによる業務の意義を認識させ、仕事の根拠やその先

業後に学生が各役職のご家庭にお邪魔し、育児や仕事との両立、価値観などをヒアリングし、ワークライフバランスとは何かを学生自身で考える機会を与えることを目的としています。意外と家庭でお子さんとお仕事について話されて

CPMインターンシップは現在すでに県内の数社で実践を進めており、学生の満足度はもちろん、受け入れ企業さまからも高い評価を受けております。今後は多くの企業さまを募り、データを蓄積し、企業さまや地域へフィードバックし上げていきたいと考えております。ぜひ、皆さまが伝わりにくい状況にある企業のうち、ご家庭はいかがですか。

(本内容は田尻研究室所属片岡ただでな、職場と家庭の両面を見聞きし考えること、研究プロジェクトに基づいてこそ、適切なバランスを見つめる鍵となります。

生就業軸形成と企業理解を